Business Suite Client Security/Server Security $\vee - \vee = \vee T$

ップについて

当記事ではBusinessSuite Windows クライアント Client Security(CS)/Server Security(SS)の バージョンアップ方法について解説させていただきます。

作業は主に下記の3点となります。

- 1. 既存製品の設定バックアップ
- 2. 新バージョン JAR インポート
- 3. 個別インストール/一斉配布
- 1. 既存製品の設定のバックアップについて

Windows クライアント端末(CS/SS)はバージョンアップ時に既存設定を保持します。その 為、バージョンアップインストールを実施するだけで作業は完了します。(注意事項)

クライアント端末は PolicyManagerServer (PMS) で集中管理され、PMS 内の設定ポリシーを 読み込んで動作している事を想定しています。その為、バージョンアップ時に何らかの異 常があり、再インストール等を実施した場合も、設定ポリシーを再度読み込みなおす事で 以前の設定を再現させる事が可能です。 "PMS が存在しない環境(スタンドアロン)"や "クライアント端末で個別に設定を実施している"場合、クライアント側設定値をメモす る等の事前作業が必要です。(主にスキャン除外設定)

PMS が存在しない場合、PMS にインストールが必要となります。PMS インストールガイドを 参照し、インストールをお願いします。 <u>https://images.secure.f-secure.com/Web/FSecure/%7Bac61657e-166c-4cd1-b348-</u> <u>cd0fea42ba8e%7D_F-Secure_Policy_Manager_for_Windows_15_Install_Guide.pdf</u>

新バージョン JAR インポート
 PolicyManagerServer (PMS) に新バージョンの CS/SS 用 JAR ファイルをインポートします。

「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参照し、JAR のダウンロードとインポート を実施します。

マンストール パッケージのインボート ファイルの継承(1): □ Downloads 「fscs-15.00.2015-rc.jar ファイル名(5): fscs-15.00.2015-rc.jar	ケージの名前 ▲		パッケージの詳細
ファイルの地所(1): 『townlaads > 』 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	デ インストール パッ	ケージのインポート	
▶ fscs=15.40.2015=rc.jar ファイルる(b): [rscs=15.40.2015=rc.jar	ファイルの場所(<u>I</u>):	Downloads	 Image: Image: Ima
ファイル名(I): [1565-15.00.2675-rc.jar	Tscs-15.00.2675	rc.jar	
ファイル名(狼): 「fscs-15.00.2675-rc.jar			
		fscs-15.00.2675-rc.jar	

3. 個別インストール/一斉配布

バージョンアップインストールには、A. MSI インストーラを作成し端末で実行する手法 と、B. JAR ファイルをポリシーベースで配布する手法があります。

- A. JAR ファイルから MSI インストーラーファイルを作成する
 - 「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参考に MSI インストーラファ イルを作成(エクスポート)します。
 ィンストール パッケージ

	パッケージの名前 🔺		15-117-37の詳細
scs-15.00.2675-rc.jar			7(97-90)##
			F-Secure Client Security Premium 15
			10 : ONECS 配布バッケージの最大サイズ : 85.4 HB バッケージは F-Secure により着名されて
	マ インストールパッ	ッケージのエクスポート	×
	保存: 🗃 デスクトッ	7	
	ファイル者 (3):	fact 15.60 114-exported	
	- ファイル省 (5): ファイルのタイプ (5):	fact 15.60 114-exported Windows 4 $>$ 2 $>$ h \sim h \sim h	> ⇒ ⇒ (ma)

II. MSIファイルをクライアント端末で実行します。※要管理者権限



B. JAR ファイルを「ポリシーベース インストール」で配布する

「ポリシーベース インストール」

https://help.f-secure.com/product.html#business/policy-manager/15.20/ja/task_59E41CAA430547F69C8241F89838425E-15.20-ja

- I. 「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参考に、JAR ファイルをダウ ンロード/インポートします。
- II. ドメイン/ホストを選択して「アップグレード」をクリック



III. アップグレードしたいバージョンの JAR ファイルを選択 インストール パッケージ

製品: F-Secure クライアント セキュリティ ブレミ	ミアム	15.20
パッケージの名前 🗕		
fscs-15.21.6.jar		~
		F-S
		ID: 雨3-3

IV. リモートインストールウィザードが開始します。



※ウィザードの手順は「クライアントセキュリティ15構築ガイド」を参照ください。

V. ウィザード完了後、ポリシーベースインストールが準備されます。 ポリシーベースインストール

π	処理	~/~~/~
1	ホスト "SeinoCC-Win10" で、F-Secure クライアント セ	ポリシーの配布後に開始されます

VI. ポリシーを配布するとポリシーベースインストールが開始されます。

		ホリンーの。 変更した設定:1	ノレビユーを配作する	Ø
1		ルート > SeinoCC-W	/in10	
7		インストール	ポリシーペース インストール	
	\rightarrow			

VII. バージョンアップインストールの進行状況が確認できます。

インストール バッケージ		ソフトウェブ F-Secure 製	「ダウンロート 豪 インストールのステータ」	ス	×
インストール ハッケーンのインボートとエクスボートを Windows ホストを自動検出 Windows ドメインとホストを自動的に検出してソフトウ	行います。 'エアをリモート イン		ホスト "SeinoCC-Win	110" で、F-Secure クラ	ライアン
ストールします・ インストールされている製品			SeinoCC-Win10	メデーダス 進行中	
製品 F-Secure クライアント セキュリティ プレミアム F-Secure クライアント セキュリティ プレミアム	パージョン カウン 15.20 1 合計 1	∕卜 処理			
ポリシーベース インストール # ▲ 処理 1 ホスト "SeinoCC-Win10" で、F-Secure ク	ライアント セ <u>進行中</u>	<u>.</u>	□ 対象外のオベレータを表	汞	
					閉じる

VIII. クライアント側には下記の GUI が表示されます。

F-Secure セットアップ
下 F-Secure ソフトウェアのアップグレード中
✔ インストールの準備中
▶▶▶ インストール中
一時ファイルの削除中

IX. 完了するとステータスが完了に変わります。



注意点

Firewall について

CS/SS ver14とver15 には Firewall 機能が搭載されておらず、WindowsFirewall 機能をコント ロー ルする機能が搭載されております。この機能はデフォルトで有効の為、Server Security (SS)14/15 のイン ストールを実施した段階で WindowsFirewall が有効化されます。旧製品で Fireawall 機能を利用していな かった場合、Policy Manager ポリシー内での無効化か、インス トールを完了後の製品 GUI での無効化を行ってください。Firewall 機能を利用される場合、下 記ナレッジで紹介させて頂いている「WindowsFirewall 機能と FsecureFirewall との違い」をご 参照いただき、Windows Firewall を設定してください。

ClientSecurity/ ServerSecurity(Protection) 14 以降 のファイアウォール機能について https://community.f-secure.com/ja/kb/articles/3188

再起動について

バージョンアップの際に、再起動を求められる場合がございます。その場合、再起動完了までセ キュリティの低下の可能性がある為、お手数ですがクライアントの再起動が可能なタイミングで のバージョンアップ実施をお願いします。

バージョンアップ失敗時の切り戻しについて

バージョンアップの際に何らかの異常が発生した場合、CS/SS は再インストールが必要となります。再インストールの際の設定については、Policy Manager (PM)からのポリシー再読み込みで対応してください。PM 自体のバージョンアップが失敗した場合、下記の手順に記載されているバックアップデータからの復帰が可能です。

Policy Manager Windows の場合

<u>https://www.f-secure.com/content/dam/f-secure/ja/business/support-resources/windows/pm-</u> <u>cs-guide-1.4.0.pdf</u>

※"バックアップ/リストア対象ファイル"を参照

Policy Manager Linux の場合

https://help.f-secure.com/product.html#business/policymanager/15.20/ja/task_F3496EC8C79842E1B5A479E8D195E8A5-15.20-ja